

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓蒙を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18か国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。

わたしから始める、世界が変わる

# Hunger Zero News

2021. 8  
No.373

ハンガーゼロ・ニュース



## 9月1日は「防災の日」 備蓄食なら救缶(パン)を

地震や台風など緊急時にあれば安心の備蓄食。ふたを開けると出来たてのような柔らかいパンが食べられます。既に救缶(パン)を備蓄されている方は、賞味期限をご確認ください。備蓄を検討中の方は是非お勧めします。

●1缶100g  
オレンジ、ブルーベリー、ストロベリー味の3種類が各8缶  
計24缶入り**1セット11,000円**  
税・送料込でお届けします。

●賞味期限  
製造より37ヵ月

【お支払い】  
当社指定口座へ先払い。



ご入金確認後約2週間でお届け。  
お申し込み：(株)キングダムビジネス  
スマートフォンは上記QRコードから  
電話注文：06-6755-4877  
FAX注文：06-6755-4888

## エチオピア緊急援助募金受付終了

内戦により国内避難民となったエチオピア・ティグレ州の人々を助ける「緊急援助募金」は、6月末で受付を終了しました。皆さまの応援を感謝いたします。現地の活動は次号以降にご報告させていただきます。ありがとうございました。

## ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン WEB フィリピン活動報告会 8月28日(土)/29日(日) (両日共内容は同じ)



報告者：酒井保&慶子スタッフ  
時間：夜7:30~9:00pm  
参加：無料  
オンラインツール：Zoom

内容：持続可能な開発と人材育成

持続可能な開発の力ぎは、人々の行動変容ですが、それが社会全体に影響を及ぼして行くには時間が必要となります。人々の行動の変化を促していく為の支援活動をどのようにおこなっているかをご紹介します。今回は最終となります。

申し込み：QRコード又は電話から  
電話 03(3518)0781 担当・中村  
どなたでも参加ができます。

## 各種手続きにお時間を いただいております

当機構各事務所ではコロナウイルスの感染対策として、一部テレワークを継続しています。支援者様への電話対応・領収証の発行・支援申し込み手続きなどで、通常よりお時間をいただいております。ご理解のほどお願い申し上げます。急ぎのご用件は、お電話でご相談ください。(事務局)

## ジェロム駐在員が無事帰国

コンゴ民主共和国から7月14日に戻りました。今秋の食料デーなどで現地報告をいたします。

Hunger Zeroの SNS ソーシャル ネットワーキング サービス

YouTube Facebook Twitter Instagram LINE

国際協力に参加する活動の第1歩目として... YouTubeのチャンネル登録や各種SNSのフォローをお願いします!

## サポーターお申し込み欄 FAX072-920-2155

氏名	
(TEL)	
住所	
申込日	年 月 日 NL 373号

<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月( )円 □(1口1,000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFHサポーター)として協力します。 毎月( )円 □(1口500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落し申込書を送って下さい。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... 5067口

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>  
eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)  
フェイスブック facebookでハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト  
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



「つながる募金」(旧がざして募金)に変わりました。ソフトバンクスマホの方は、Tポイントで募金ができます。

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1  
TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155  
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 0CCビル517号室  
TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782  
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F  
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132  
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米202号  
TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216  
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa  
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605  
TEL (510)568-4939 FAX (510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター

## Contents

10月16日は世界食料デー 各地の大会情報、実行委員会からの報告等	P.2-3
チャイルドサポーター活動報告 バングラデシュ「マチュバラ地区が卒業へ」	P.4-5
ボリビア駐在小西スタッフ連載⑩	P.6
支援者の取り組み...越井木材工業	P.7



## まもなく世界食料デー!

1分間に17人(内12人が子ども)  
1日に2万5,000人が  
1年間では約1,000万人が  
飢えのために生命を失っています

コロナ禍での試練や不安は続きますが  
祈り信じて互いに助け合っていきたいと思います

# 10月16日は世界食料デー

～Imagination～ 思い描こう コロナ禍の向こう側の世界～

昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響で日本の私たちの生活は様々な不自由が強いられていますが、世界中の支援地はさらに深刻な状況に置かれています。コロナ感染拡大によって雇用がさらに厳しくなり、職を失ったり収入が減少したりする上、もともとある不衛生な環境や不安定な医療システム、また医療を受けられないほどの貧困などによって飢餓人口がさらに増加する見通しです。

このような状況の中、例年以上に世界の飢餓と貧困に苦しむ人々のために私たちにできることを考え、取り組んでいくことの大切さを感じさせられます。

今年の世界食料デーにはハンガーゼロは、プロジェクト支援 11カ国と合わせて、チャイルドサポーター募集の呼びかけを行います(右頁⑤支援国地図参照)。コロナ禍の今こそ、ぜひこれらの国々に思いを向けていきましょう。



2021年 世界食料デー 動画配信

## 様々な形で継続される各地の大会にご参加ください

今年の世界食料デー大会も様々な工夫を行いながら準備が進んでいます。右の一覧表に、対面あるいはオンラインの形で誰でも自由に参加できるオープンな大会(予定)をまとめました。このほか感染対策の関係で、協力団体や教会などの小規模会場にて動画等を用いて取り組む大会が12カ所あり、コロナ禍の飢餓・貧困に苦しむ人々を支えたいと、全国各地で大会が実施されます。詳細は9月号および10月号でお知らせいたします。ぜひ実際に会場に足を運んで、あるいはオンラインの形でご参加をお願い致します!



## 現地報告や講演の動画で小集会やオンライン開催を

約10分の現地報告(コンゴ民主、ボリビア、フィリピンの3カ国)や、約10分の食料デー講演動画を用いて、小集会を開きませんか?どこでも誰でも手軽に世界の飢餓・貧困問題をアピールできます。オンラインでの集会も可能です。まずは世界食料デー事務局までお問合せを!(8月末動画完成予定) 写真④左から海外駐在員:ジェロム・カセバ(コンゴ民主) 小西小百合(ボリビア) 酒井保・慶子夫妻(フィリピン) / 講演: 田村治郎(国内啓発)

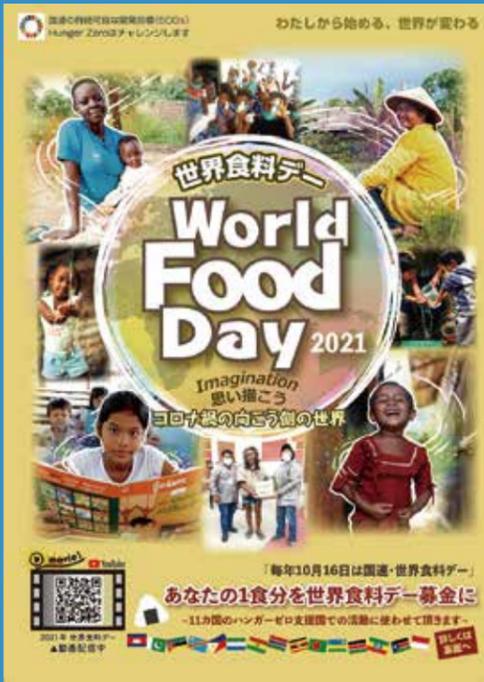
## コロナ感染から守る「緊急救援募金」に応援をお願いします

募金は、郵便振替又はウェブサイトからクレジットカード決済が利用できます。ウェブサイト <https://www.jifh.org> ※ハンガーゼロで検索又は右 QR コードから郵便振替 00170-9-68590 日本国際飢餓対策機構 ※記入欄に「緊急救援募金」と明記 募金集計: 2021年7月13日現在で約1,067万円、皆さまの応援を心より感謝いたします。



スマホから募金ページに

## 2021年のチラシが出来ました!



大会	開催日
仙台	10月16日⑤
千葉北	10月23日⑤
Tokyo WFD+Gospel	11月20日⑤
横浜	調整中
滋賀	調整中
京都	10月10日⑥
東大阪	調整中
芦屋	10月17日⑥
沖縄南部	10月10日⑥
沖縄北部	10月15日⑥
沖縄中部	10月17日⑥
高校生による世界食料デープレゼンテーション大会	10月頃を予定

小規模会場・対象者限定などの形で実施予定  
札幌、浜松、名古屋、南大阪、八尾河南、宝塚、奈良北、奈良南、広島、柳井、関門、鹿児島

開催検討中の大会 (7会場)  
北大阪、@ぎりたん、和歌山、須崎、宮古、久米島、八重山

上記は2021年7月15日現在のものです。会場・内容等の紹介は次の9月号以降で改めてお知らせいたします。

## 2020年 芦屋大会実行委員会の取り組み

### 「知るだけに終わらず、行動へ」

～ Action for others (隣人のための行動)の実践～

コロナ禍により多くの貧困の中にある国々の方が、ますます生活面で困難を強いられていることを見聞きし、特に紛争下で難民、避難民となっている方々の空腹が日々満たされることを願うばかりです。今年も微々たるものではありませんが、世界食料デー芦屋大会の実行委員の1人として、協力させていただきます。

毎年開催しながら自分自身を振り返り感じることは、大会では大きな気づきがいつも与えられ、大会前後では気持ちも貧困・飢餓の方々



チャイサポ・ポレポレ報告会

に寄り添おうと願いますが、「その感動や刺激を行動に変えねば、貧困下の方々につながらない」という思いです。

昨年芦屋大会では、その「アクションを起こす大切さ」を改めて示されたので、参加した若者たちの提案で以下の3つの行動を始めました。

- ① チャイルドサポーター里親会「チャイサポ・ポレポレ」(ポレポレはスワヒリ語で「ぼちぼち」の意味)
- ② 青年による歯ブラシ集めや古切手集め(高校生になる息子もこれを始めました)
- ③ 「地域密着型」子ども食堂

これらを「Action for others in ASHIYA」と名付け、今年の大会では報告を計画しています。まだまだ小さな働きですが、まずは若者が自発的に行動を起こすことに大きな意味があると思っています。

全国の食料デー委員会やサポーターの皆様も、さまざまな「Action for others」を実践されていると思います。中にはユニークな若者らしいアイデアで、新しい気づきになるものもあるかと思っています。それらをお互いの模範として、世界食料デー大会が単に「知るだけに終わらず、行動へ」つなげていければと願っています。(世界食料デー芦屋大会 実行委員 三木由美)

## 世界食料デー生配信を今年も行います!

10月16日の世界食料デーに合わせて、YouTubeでの世界食料デー生配信を今年も実施予定です!どなたでも興味を持って頂けるような内容となるよう、ハンガーゼロの若手スタッフを中心に企画を行っています。イベント詳細は追ってご連絡致します。ご期待のほどよろしくお願い致します!

※ YouTube チャンネル「hungerzero」にご登録ください!(10月までに現在 661人 → 1000人を目標としています)



子どもも大人も楽しいクイズブックもあるよ!



## 2021年世界食料デー募金目標は2,000万円

コロナ蔓延で支援地の人々の生活は、ますますきびしくなっています。今こそ私たちの支援を現地に届けましょう。ご協力をお願いします。※昨年の募金額は1,978万2,149円でした。募金の使途については9月号で詳しく報告致します。



## ● 主な支援プロジェクト

- ・コンゴ民主: 地域リーダー育成、農業支援
- ・ケニア: 農業支援、学校給食支援
- ・エチオピア: エイズ孤児などへの生活支援
- ・フィリピン: 地域リーダー育成、教育支援
- ・インドネシア: 妊産婦の栄養改善、農業支援

## Child Supporter

● チャイルドサポーター  
月々 4,000円  
現在、5カ国で募集中  
・カンボジア ・ルワンダ  
・フィリピン ・ボリビア  
・バングラデシュ

● ボリビア

世界食料デーのお問合せ (ハンガーゼロ 東京事務所内) 事務局: 電話 03-3518-0781 メール [tokyo@jifh.org](mailto:tokyo@jifh.org)

# 地域が自らの力で歩み出せる喜び



FH= 国際飢餓対策機構

ハンガーゼロは、チャイルドサポーター活動を通して2014年1月からバングラデシュ西部のマチュパラ地区で支援活動を開始しました。まもなく支援開始から8年となる今年の12月、マチュパラ地区は「卒業」の時を迎えます。つまりマチュパラ地区への支援は終了となり、地域が自らの力でひとり立ちする大きな一歩を踏み出します。支援活動の終了を目前に、これまで支え続けてくださいました皆様に心から感謝するとともに、改めてマチュパラ地区での活動を振り返りたいと思います。

## 子どもを取り巻く環境が改善

マチュパラ地区は、現地パートナー国際飢餓対策機構(FH)バングラデシュが活動を開始する以前に、他のNGO団体が3年間地域開発を進めていました。FHバングラデシュがその団体からマチュパラ地区を委ねられたのは2012年7月で、その時すでに30の貯蓄グループが活動をしており、その21グループ内で識字教育が行われていました。

FHバングラデシュは、この2つの活動を引き継ぎながら、2013年8月から本格的に包括的な地域開発を開始し、その主な活動の軸として教育、保健、生計向上を推進してきました。子どもたちが地域で健やかに成長できるように、子どもたちを取り巻く家庭と地域の環境を改善し、地域全体が貧困から抜け出せるように家族及び地域を包括的に捉えた地域開発を進めました。



マチュパラ地区の多くの地域ではFHが介入する2012年以前は、ほとんどの人が教育を受ける機会がありませんでした。地域の識字率は20%と低く、識字と貯蓄の知識がないために、貧しい人々は小規模融資を行う団体のローンを利用して、借入金を収入につなげることができず、負債はますます拡大していく状況でした。

子どもたちの就学率も低く、その理由として両親の教育に対する理解の欠如や家計が厳しいことで子どもが働きに出されていること、また女子は男子よりも価値が劣るという誤った見方によって学校に行かせてもらえないという問題がありました。

健康に関しては、迷信が根強く「神が自分に望んでいるのは貧しいままでいること」という間違った考えが無気力を引き起こし、貧困を悪化させていました。手洗いやトイレの使用などの衛生面の欠如という課題もありました。

FHバングラデシュは献身的に地域に仕えながら、3つの柱となる活動を通して、地域がこれらの問題解決に当たることができるように導きました。ハンガーゼロが支援に関わった8年あまりの中で、地域は大きな変化を成し遂げています。包括的地域開発を通して、地域が変革されていったその一部をご紹介します。

## 識字によって女性も生計の担い手に

**生計** 貧困の連鎖を打ち破るために、持続可能な生計向上の活動を推進させた結果、現在マチュパラ地区には36の貯蓄グループが形成されています(女性グループ35、男性グループ1)。支援終了を前に、FHが撤退した後の貯蓄グループの管理や運営についても話し合われ、2020年2月に組合が設立、貯蓄グループのメンバーが出資をして土地を購入し管理事務所を設けました。今後はこの組合が運営を行っていくことになります。

貯蓄グループは、これまで学ぶ機会がなかった多くの女性が活動をしています。一つのグループには約20人が所属し、初めてお金の価値と読み書きを教わり、メンバーになれば貯蓄グループ活動で求められる信頼関係について学ん

だ後、会計、リーダーシップ、母親の役割、法律、健康、教育、裁縫などの職業訓練、家畜の飼育方法、小規模ビジネスの講習など多岐に亘る学びをします。

識字教育を受けた女性たちは自分の名前が書けるようになると、自尊心が回復され、自分自身の存在意義を改めて認識できるようになります。教育への理解が深まり娘たちを学校に通わせるようになった結果、未成年の結婚や出産の減少にもつながりました。知識の習得が可能性を生み出し、グループから借入れた資金でミシン(写真⑥)、荷物車、人力車などを購入するメンバーが起こされ、新たなビジネスで女性自身が家族に収入をもたらす存在となりました。



## 母親から母親へと学んだ知識が広がる

**保健** 保健活動は貯蓄グループ活動と連携して行われ、貯蓄グループに所属する母親たちは、保健に関するさまざまな学びをしながら、バランスのとれた食事作りの実践や衛生習慣の確立、病気や感染症の基本的な応急処置などについても幅広く学んできました。母親たちが学んだことを近隣のメンバーに伝えていく役割を果たしたことで、保健に関する情報伝達が地域に幅広く行われました。FHが第一線を退いた後は、組合が引き継ぎ、この活動を継続させていきます。またFHも必要がある時

は相談に応じ、アドバイスを続けていきます。

## 地域住民も参加して子どもの教育をサポート

**教育** 児童、小学生、中高生のための活動が定期的に行われてきたことを通じて子どもたちの全人的成長が育まれてきました。教育は子どもだけでなく、保護者や大人への啓発活動として貯蓄グループ活動や保健活動の中でも幅広く行われてきました。特に2020年に入ってから、新型コロナウイルスに関する知識や感染予防も重要項目として地域への啓発を行いました。

子どもたちの教育活動は、地域住民で構成された委員会が引き続き保護者や地域リーダーの協力を得ながら維持しています。



ハンガーゼロは、これまで地域で長年培われてきた経験と知識が次世代に継承されて、マチュパラ地区がさらに発展を遂げていくことを願っています。

## 2022年1月から

### 新しくジリム地区で支援を開始

300人の子どもをサポートします！ジリム地区の子どもたちをサポートして下さるチャイルドサポーターを今年11月から募集します。

2022年1月にバングラデシュ北西部のラージシャヒ管区チャパイナワプガンジ地域内のジリム地区で支援活動を始めます。ジリム地区は、特に子どもの中等教育の退学率が非常に高く、人々の生活は貧しく、女性

及び少数民族にとって収入を得る機会がありません。保健や衛生面における欠如と間違った慣習が見られ、家族間の結束が弱く、協力関係が乏しい地区です。FHバングラデシュは2022年1月からこの地区での支援活動を開始し、ハンガーゼロも共にこの働きを支えていきます。詳しくは12月号に掲載します。



ロンライフタウン 寝屋川公園 フィレンツェの丘

## 私たちロンライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロンライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty  
ロンライフグループ  
Resort & LongLife  
0120-550-294  
受付時間 9:00~18:00 年中無休  
大阪本社/〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社/〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階  
ロンライフグループ拠点:北海道/埼玉/東京/神奈川/千葉/静岡/愛知/大阪/兵庫/京都/大分/沖縄/中国(青島)/韓国/インドネシア(ジャカルタ)

## ラテンアメリカの人々とともに

私は昨年12月3日から今年2月17日迄日本に一時帰国し、その後ボリビアに戻っています。

今回は「ボリビアでのコロナの最新状況と政治的な混乱」について、そして次回は「愛する方々との突然の別れ、コロナ禍の試練」についてお伝えしたいと思います。

現在も全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルス。2021年7月7日現在、東京都の人口より200万人以上少ないボリビアでのコロナ感染者数は、計44万8,213人で、人口100万人あたり日本が6,432人、ボリビアは日本の6倍の39,059人。死亡者数は日本が118人、ボリビアは日本の12.6倍の1,482人となっています。<sup>(注1)</sup>

### コロナ第3波で医療が逼迫

ボリビアは今コロナ第3波で、ブラジル変異種による子どもや若年層の感染が広がっています。現在各病院のICUが満床状態。また医療用の酸素が不足し、人々は酸素販売会社の工場へ殺到し、長蛇の列をなして夜を明かしながら順番を待っていますが、それでも入手は困難です。

またボリビアでは現在も政治的混乱が続いています。昨年10月18日に大統領と国会議員選挙が実施され、亡命した元大統領の政党候補者が52%の票を獲得して当選、11月8日にアルセ新大統領が就任しました。それに伴い、元大統領で国家銀行から考えられない額の現金を引き出して

連載〈18〉

## 変わるものと 変わらないもの



ボリビア多民族国 駐在 小西小百合



亡命したエボ・モラレス氏がボリビアに帰還し現在も政権の実質上のトップとして君臨、所属政党MAS<sup>(注2)</sup>の選挙キャンペーン委員長として全国を駆け巡る彼の姿も報道されました。

殺人、横領、麻薬関連など今まで彼が犯したとされている数々の犯罪に関して訴えがありましたが、司法・行政・立法の三権とも議員や関係者を彼の政党で過半数を占めている為に裁判は実施されず、彼は「罪に定められない」という状況です。

### 初の女性大統領も収監中

命の危険を感じた彼の政敵や彼を批判した人たちの何人もが、すでに彼の帰国前に国外に亡命しました。さらに2019年11月から暫定政権で初の女性大統領だったジャニネ・アニェス氏が3月15日“一昨年クーデターを犯した罪”で拘束されて6ヵ月間の刑務所収監となり、現在も服役中です。その他にも数人の暫定政権時期の政府高官が逮捕されました。

そして一昨年現政府に対して真っ先に反対運動を起こした勇気あるコチャバンパの青年グループ<sup>(注3)</sup>のリーダー、ジャシルさんが3月30日に突然逮捕されました。5月に彼は仮釈放されて現在司法に訴えています。まだその手続きが一向に進んでいません。ボリビアの為政者が正しく政治を行い、現政府反対者の身に危険が及ぶことがない様に、そしてボリビア国民の人権が今まで以上に侵害される危険な状況へと変わっていくことがない様にと心から願いつつ、状況を見守っています。(続きは9月号に掲載)

(注1) 資料：在ボリビア日本大使館、ウィキペディア  
(注2) Movimiento Al Socialismo (社会主義への動き)  
(注3) Resistencia Juvenil Cochara



## 子どもを助けるハンガーゼロの活動に感銘して設置を決断

- 大阪市にある越井木材工業株式会社さんでは、社員180人余りの住之江区の本社で2019年以降2台のハンガーゼロ自販機を設置してくださっています。今回さらに1台追加してくださるということで、設置担当の関西キリンビバレッジサービス<sup>(株)</sup>さんと共に7月15日に本社を訪問させていただきました。
- 総務部長の赤田氏と次長の田中氏からお話を伺う中で、この会社では茨城県にあるHC東日本関東工場でも3台ある自販機のうち1台をハンガーゼロ自販機にしてくださいとのこと。また同じ住之江区にある子会社の<sup>(株)</sup>コシプレザービングさんでも1台を設置してくださり、合計5台になることがわかりました。お2人から取り組みについてお話を伺いました。

### Q ハンガーゼロの活動を知ってくださったきっかけは？

越井社長がロータリーの会合でハンガーゼロ(HZ)の前理事長と出会う機会があり、HZの活動について聞いたことがきっかけです。もともと木育保育<sup>(注)</sup>に非常に興味があった社長は、HZの子どもの教育や子どもを助けるということに感銘を受けました。そしてHZ自販機のしくみを聞いて、当社に設置



左から同社総務部の赤田部長、田中次長、キリンビバレッジの担当者さん



設置いただいている自販機から2020年6月からの1年間に132,634円の募金を頂きました。(関連会社も含む)

するようという事でスタートしました。

(注) 木育…子どもをはじめとするすべての人が「木と触れ合い、木に学び、木と生きる」取り組み

### 紙に張り出して寄付実績を伝えています

当初は朝礼などで、ドリンク1本につき10円が寄付になり、3本で1人分の食事になることを伝えました。今月は何人分の食事の寄付ができたかを書いて張り出したりしています。自販機は何台かあるのですが、HZ自販機からが一番よく買われているようです。

### Q 御社はSDGsの取り組みもされておられますね

はい、全社共通の目標の1つです。社内でSDGsの勉強会も行っており、SDGsとは？から学んでいます。HZ自販機を設置したのもその取り組みの一環です。うちは木材の会社ですので、全国15ヵ所の山で植林や育林もやっていますし、海外でも植林をしています。被災地支援や国産材活用促進他の理由で今年3月に黄綬褒章をいただきました。



越井木材工業 HP



同社ではCO2排出削減の観点から木造建築の良さをアピールしています

### 備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう  
**救岳鳥**  
Kyu-Can-Cho

皆様から回収された救岳鳥は各地に飛んでいきました！

食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。



おいしさとお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰 since 1995

〒329-3147

栃木県那須塩原市東小屋295-4

TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索